

沖縄総合事務局バリアフリー化推進功労者表彰(第1回)

H27.10.19

沖縄総合事務局では、バリアフリー化に関する優れた取り組みを広く普及させるとともに、これらの諸活動を奨励することを目的として、バリアフリー化の推進に多大な貢献が認められ、かつ、顕著な功績又は功労があった個人又は団体を表彰。

特定非営利活動法人 沖縄県脊髄損傷者協会

～脊髄損傷者および重度障害者の社会参加の推進におけるバリアフリー化の活動～

沖縄県による「平成25年度沖縄県観光バリアフリーサポーター育成事業」を活用し、当県における観光バリアフリー推進の担い手を育成するツールとして「公共交通及び観光事業従事者向け研修プログラム」を作成した。

また、平成26年度には、バリアフリーな投票環境を推進する目的で、県内全ての投票所(368箇所)のバリアフリー状況を調査し、調査結果を沖縄県選挙管理委員会に対策に係る提言を含めた要望書の提出や、障がい者当事者による道路の整備状況のバリアフリー調査を行い、現状の課題をまとめ、分析し、行政(国、県、那覇市)に提言されたこと等の取組が高く評価された。



サポーター育成講座



選挙とバリアフリー
(意見交換会)

【沖縄県福祉のまちづくり賞 平成21年度】

【奨励賞】

沖縄青視覚障害者連合会

○所在地 那覇市首里石川町4丁目373番地の1
○設立年 昭和57年4月

【圖評（評価された取組み、活動等）】

沖縄青視覚障害者連合会は、青視覚障害者及び重度身体障害者の医療充実、社会参加の促進、福祉の増進と会員相互の親睦を目的とした多様な活動を重ね、ピアサポートなど障害当事者による青視覚障害者等の生活支援に取り組んでいることに加えて、特に、バリアフリー化の推進について、公的施設整備への障害当事者の参画の定着に重要な役割を果たしている。県内でのバリアフリーの実現への貢献とバリアフリーに関する課題への社会的認知を広げるための多様な活動が高く評価される。



バリアフリーチェックの取組み



ふれあい車いすバスケットの推進

障がい者ITサポートおきなわの取り組み



NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会
障がい者ITサポートおきなわ
仲根 建作

事業所概要

障がい者ITサポートおきなわ

運営主体 NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会
所在地 浦添市内間5-4-3（浦添西消防署近く）

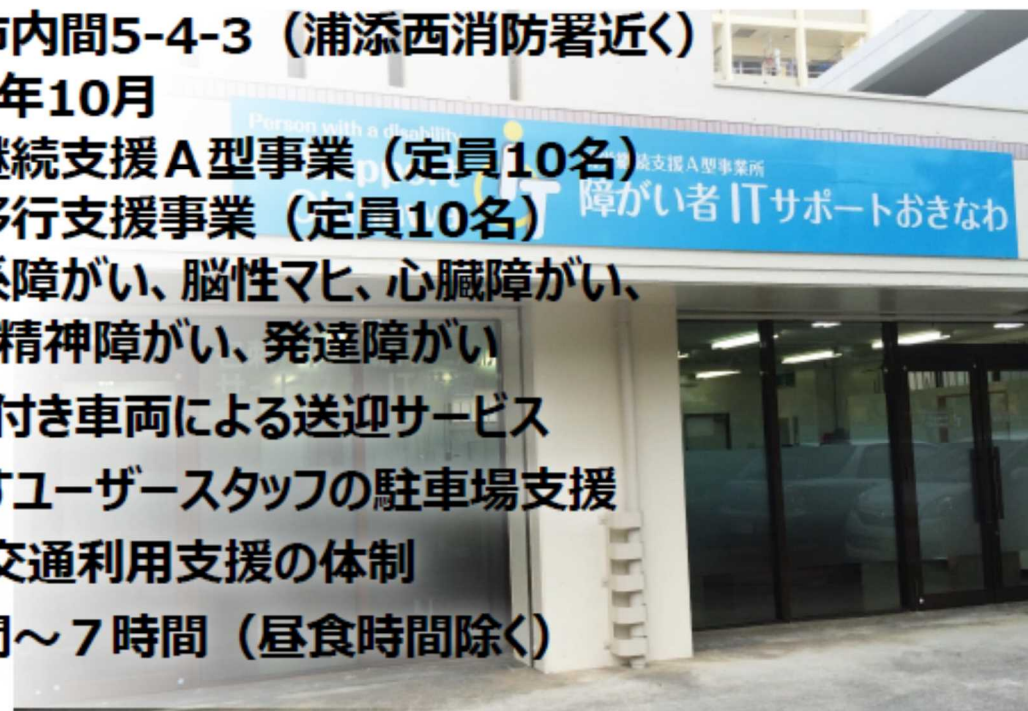
開所日 2015年10月

実施事業 就労継続支援A型事業（定員10名）
就労移行支援事業（定員10名）

障害内容 脊椎系障がい、脳性マヒ、心臓障がい、
難病、精神障がい、発達障がい

移動支援：リフト付き車両による送迎サービス
車いすユーザースタッフの駐車場支援
公共交通利用支援の体制

就労時間：4時間～7時間（昼食時間除く）



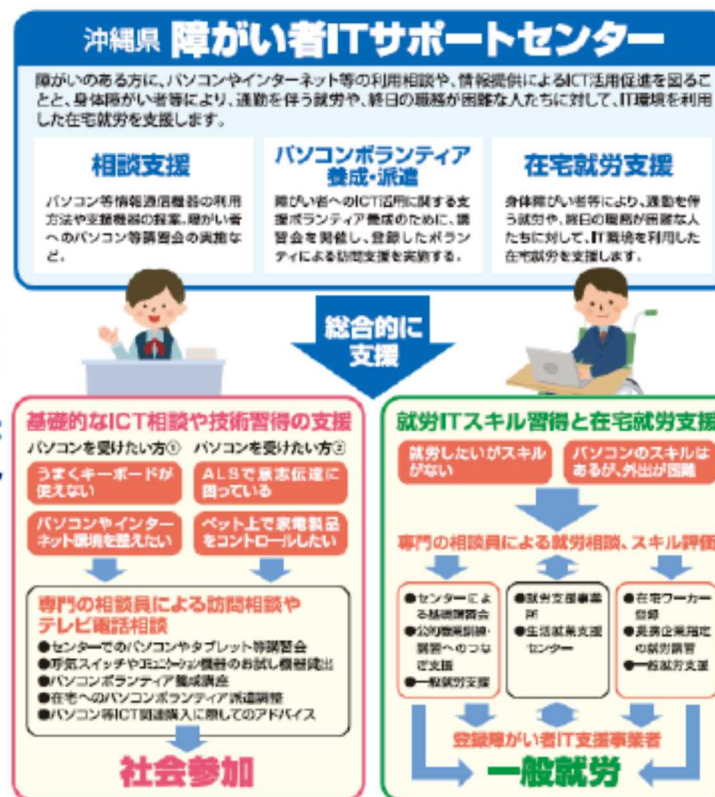
ICT活用の多様な働き方を創造したい

- ①情報・意思伝達保障としてICT利用の支援
 - ▶「障がい者ITサポートセンター」の設置
- ②ベツト上でも働ける機会を
 - ▶テレワークの推進
- ③就労機会創造に企業連携・協働
 - ▶IT人材育成と共同受注の仕組みづくり

▶ 障がい者ITサポートセンターとは？

厚労省国庫補助事業で、支援職員2名程度の配置。
実施している都道府県は27カ所。

沖縄脊髄損傷者協会は、重度のハンディをもつコミュニケーション支援を必要とする方々を支える「沖縄県障がい者ITサポートセンター(仮称)」設置を目指した活動をスタートしました。
賛同する機関団体・個人の皆さん、一緒に行動しましょう！
※同センターは全国では半数近くの都道府県で設置されています。



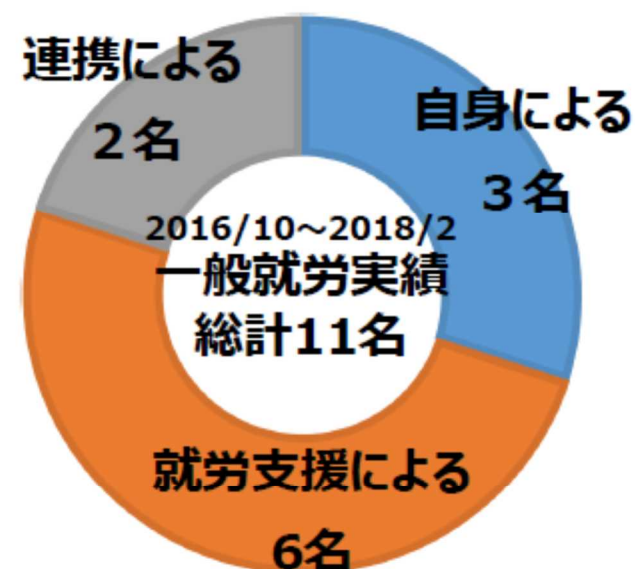
■平成25年度から施行された「障害者優先調達推進法」による在宅就業支援団体を目指します。
■企業のCSR推進を図ることと、沖縄県におけるIT産業促進策に沿った産業創造を目指します。

一般就労支援の取り組み

一般就労支援実績

ポイント

- 退職者総数16名の内11名が一般就労
- ナカポツセンター（2か所）との連携
- 初のテレワーク採用
継続A型：1名
就労移行：3名



ITに特化した就労支援

IT活用で**多様**な業態

採用の要件は

IT (PC,ウェブ,SNS) が**好き**
一般就労を目指す意思

- 入力系
アンケート入力、音声起こし
- クリエイティブ系
DTP、ライティング
- 技術系
ウェブ、プログラム



バリアフリーコンサルティング

当事者の視点から
店舗などのバリアフリー化を
お手伝いします。

